

講義コード	513123802	
講義名	社会福祉 CD	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科（短大）	
講義開講時期	前期	
基準単位数	2	
時間	0.00	
代表曜日	月曜日	
代表時限	1 時限	
科目分類名	専門科目	
科目分野名	教科に関する科目	
対象学部・年次	女子短期大学部・1～2年	
必須/選択	選択	
担当教員		
職種	氏名	所属
専任教員	坪井 真	指定なし
専任教員	教務委員会（短大）	指定なし

授業の概要

社会福祉は、保育実践のみならず、子どもや保護者の生活にかかわる仕組み（政策や法律など）と取り組み（実践）です。そこで本授業は、社会福祉の制度・実施体系や支援体制、現代社会における社会福祉の意義・課題などを学び、人々の暮らしと人生を支える社会福祉の重要性を理解します。

授業の到達目標及びテーマ

保育実践のみならず、子どもや保護者の生活にかかわる社会福祉を理解するため、本科目では、以下の到達目標を位置づけます。

- (1)社会福祉の制度や実施体系などについて理解し、説明できる。
- (2)社会福祉における相談援助について理解し、説明できる。
- (3)社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解し、説明できる。
- (4)現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点を理解し、考察することができる。
- (5)社会福祉の動向と課題について理解し、考察することができる。
- (6)主体的な姿勢で予習・復習およびアクティブラーニングに取り組むことができる。

また、学修成果評価マトリックスとの関連について、本科目は①幼児教育者観、②知識・技能、③実践力と実務能力、④人間性と協働性が該当し、特に①幼児教育者観、②知識・技能を重視します。

さらに本科目は、幼児教育科のディプロマポリシーの「1. 諸領域（人と自然・人と社会・人と文化・言語・情報・キャリア形成）の学問分野における基礎的知識を持っている」とおよび「8. 地域社会が抱える課題、特に幼児教育の課題に向けて主体的に取り組むことができる」を達成するための科目に位置づけられます。

授業計画表

社会福祉

回	担当教員	項目	内容	予習	復習

第1回	坪井真	社会福祉の理念と概念	①授業のガイダンス ②社会福祉の理念と概念（演習を含む）	皆さんが本学の学びで得た関連知識および報道などで関心をもった関連事項などを振り返り、子ども家庭支援の特徴を再確認してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを読解し、理解したことや考察内容を復習してください。
第2回	坪井真	社会福祉の歴史の変遷	保育実践や子育て支援を含む社会福祉の歴史（その変遷と特徴）を学びます。	前回の授業終了時に教科書の予習箇所を提示します。教科書の該当箇所を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを読解し、理解したことや考察内容を復習してください。
第3回	坪井真	子ども家庭支援と社会福祉	保育実践における相談援助や子育て支援と社会福祉の関係性を学びます。	前回の授業終了時に教科書の予習箇所を提示します。教科書の該当箇所を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを読解し、理解したことや考察内容を復習してください。
第4回	坪井真	社会福祉の制度・法体系と関連制度	保育実践や子育て支援（その仕組み）を含む社会福祉の制度・法体系と関連制度（社会保障など）について学びます。	前回の授業終了時に教科書の予習箇所を提示します。教科書の該当箇所を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを読解し、理解したことや考察内容を復習してください。
第5回	坪井真	社会福祉行政と実施機関	保育実践や子育て支援（その仕組み・取り組み）を含む社会福祉行政と実施機関について学びます。	前回の授業終了時に教科書の予習箇所を提示します。教科書の該当箇所を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを読解し、理解したことや考察内容を復習してください。
第6回	坪井真	社会福祉施設と専門職	保育所や保育士を含む社会福祉施設と専門職（その特徴と実際）を学びます。	前回の授業終了時に教科書の予習箇所を提示します。教科書の該当箇所を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを読解し、理解したことや考察内容を復習してください。
第7回	坪井真	前半の確認テスト	第1回から第6回の学習内容を振り返り、理解したことや考えたことを整理する確認テストに取り組みます。	前回の授業終了時に確認テストの予習箇所を提示します。第1回から第6回に該当する教科書や参考資料を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	確認テストの解答内容を振り返り、第1回から第6回の授業で学んだことを復習してください。
第8回	坪井真	社会福祉における相談援助	保育実践や子育て支援を含む社会福祉分野の相談援助（その特徴と実際）を学びます。	前回の授業終了時に教科書の予習箇所を提示します。教科書の該当箇所を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを読解し、理解したことや考察内容を復習してください。
第9回	坪井真	保育者の実践と相談援助	社会福祉（子ども家庭福祉）の専門職である保育者の相談援助（その特徴と実際）を学びます。	前回の授業終了時に教科書の予習箇所を提示します。教科書の該当箇所を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを読解し、理解したことや考察内容を復習してください。
		社会福			

第10回	坪井真	社における利用者の保護に関わる仕組み	保育実践や子育て支援（その仕組み）を含む社会福祉の制度・法体系と関連制度（社会保障など）について学びます。	前回の授業終了時に教科書の予習箇所を提示します。教科書の該当箇所を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを读解し、理解したことや考察内容を復習してください。
第11回	坪井真	現代の日本における社会福祉の動向と課題(1)	少子高齢化社会における子育て支援制度の現状と課題を学びます。	前回の授業終了時に教科書の予習箇所を提示します。教科書の該当箇所を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを读解し、理解したことや考察内容を復習してください。
第12回	坪井真	現代の日本における社会福祉の動向と課題(2)	地域共生社会の実現と在宅福祉・地域福祉の推進（その現状と課題）を学びます。	前回の授業終了時に教科書の予習箇所を提示します。教科書の該当箇所を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを读解し、理解したことや考察内容を復習してください。
第13回	坪井真	現代の日本における社会福祉の動向と課題(3)	講義・演習をとおして、子どもと子育て家庭を支える社会福祉の役割を考察します。	前回の授業終了時に教科書の予習箇所を提示します。教科書の該当箇所を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	今回の授業内容に該当する教科書などを读解し、理解したことや考察内容を復習してください。
第14回	坪井真	後半の確認テスト	第8回から第13回の学習内容を振り返り、理解したことや考えたことを整理する確認テストに取り組みます。	前回の授業終了時に確認テストの予習箇所を提示します。第8回から第13回に該当する教科書や参考資料を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	確認テストの解答内容を振り返り、第8回から第13回の授業で学んだことを復習してください。
第15回	坪井真	総括	①第7回の授業で取り組んだ前半の確認テストおよび第14回の授業で取り組んだ後半の確認テストを解説します。 ②第1回～第13回の学習内容を振り返り、本科目全体の振り返りとまとめに取り組みます。	第1回～第13回の授業で学んだ内容（教科書や資料、自筆ノートなどの該当箇所）を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。	本科目全体（第1回～第13回）の学習内容を振り返り、理解したことや考察内容を復習してください。

授業時間外の学修

【予習】

次回の授業に該当する教科書を読解し、理解したことや考察内容を予習してください。各回の予習には90分かかると想定されます。

第1回の予習は、皆さんが本学入学前の学びで得た社会福祉に関する知識および報道などに関心をもった関連事項を振り返り、社会福祉の特徴（政策・制度・理論・実践など）を再確認してください。

第2回以降の予習（但し、確認テストを実施する第7回・第14回は除きます）は、前回の授業終了時に教科書などの予習箇所を提示します。

【復習】

授業に該当する教科書などを読解し、理解したことや考察内容を復習してください。各回の復習には90分かかると想定されます。なお、復習の成果は各自の成績評価に活用します。各回の授業内容（但し、確認テストを実施する第7回・第14回は除きます）に該当する教科書などを読解し、理解したことや考察内容を復習してください。

実務経験の有無

実務経験のある教員が担当する 例：企業団体の実務経験者・税理士・学校現場教員経験者・カウンセラー等

ディプロマポリシーとの関連

① 幼児教育者観	② 知識・技能	③ 実践力と実務能力	④ 人間性と協調性
◎	◎	◎	○

ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行えていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行えていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
課題解決能力	他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができるとともに、解法が定まらない他者に的確なアドバイスができる	基本的に他からの支援を受けずに独自の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり、他からの支援を少し受けながら自身の能力で課題を解くことができる	参考資料を参考にしたり、他からの支援を受けたとしてもなかなか自身の能力で課題を解くことが難しいので、できるだけ一緒に課題解決ができるよう支援している
レポート力 (復習も含む)	テーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分になされている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析がなされている	テーマについての分析がなされていない

成績評価法 (表形式)

	評価基準	備考
定期試験	70%	定期試験 (期末試験) で授業内容全般の理解度を評価します。
小テスト等	0%	
成果発表	0%	
授業への貢献度	0%	

レポート	0%	
その他	30%	演習の成果、確認テスト（2回）、復習の学習成果により、学習状況を総合的に評価します。

課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
授業の中で解説、講評する	授業の中で解説、講評する	授業の中で解説、講評する

ICTを活用した双方向型授業の内容

チャット メール等の活用

アクティブラーニングの割合

総授業時間数の30%程度のアクティブラーニングである

アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） 小テストや授業内レポートの活用	PBL(課題解決型授業)	授業後レポート

教科書

本科目は以下の教科書を使用します。

北川清一・他「社会福祉への招待 社会福祉入門」ミネルヴァ書房（\2,500+税）

参考書

適宜、紹介します。

SDGsとの関連

4. 質の高い教育をみんなに

特記事項等

科目のナンバリング

SOB1102

学生へのメッセージ

社会福祉は、保育者が支援する子どもたちや保護者の人たちの生活全てにかかわる仕組み（政策や法律など）と取り組み（実践）です。また、皆さん自身の生活にも深くかかわっています。本授業をとおして、人々の暮らしと人生を支える社会福祉の重要性を理解してください。

研究室（訪問先等）

中央研究棟 230 研究室

授業用E-mail

tsuboi@sakushin-u.ac.jp

成績評価法

- ①定期試験（期末試験）で授業内容全般の理解度を評価します。（全体の70%）
- ②演習の成果、確認テスト（2回）、復習の学習成果により、学習状況を総合的に評価します。（全体の30%）